

北勢地区標準化懇談会 2012年度 活動報告

懇談会	テーマ	精度管理関係
2012年 7月17日 18名参加 中央検査室技師室	HBVの最新情報 (アボットジャパン株式会社)	2月実施地区サーベイの検討 今回よりドライアイスに検体を包み 溶解しないように持って帰って もらった
10月16日 21名参加 中央検査室技師室	脂質検査における最近の話題 (協和メデックス株式会社)	7月実施地区サーベイの検討 ドライアイス保存によって測定まで 溶解していないかを報告
12月4日 26名参加 研修棟多目的ホール	栄養サポートにおける亜鉛の有用性 ～食欲不振、味覚障害、創傷治癒 遅延など様々な症状と亜鉛の 関連～ (株式会社シノテスト 研究開発部 田中龍彦講師)	10月実施地区サーベイの検討
2月5日 21名参加 研修棟多目的ホール	定量測定法のバリデーション (和光純薬株式会社 学術部)	12月実施地区サーベイの検討 CKにおいて1施設SDIが2.73、 2.87と高値であった

総 括

今年度は4回の勉強会及びサーベイの検討を行ないました。
勉強会において、さまざまな分野における話題を提供していただきました。
サーベイの検討では4回ともほぼ同様な結果が得られたと思います。
ただ、検体の運搬方法(保存方法)や溶解方法、また測定日の違いなどで
結果にばらつきが生じているのではないかと思います、統一をしてはいかがか
と提案しました。
精度管理が始まってから15年ほど経っています。検査を行う方も代わって
いるでしょうし見直してはどうかと思いました。

- ① 来年度からドライアイスを準備し検体を溶解しないように持ち帰ってもらう。
- ② 次の日病院に持っていき冷凍庫に保存。
- ③ 溶解は室温の水に15分間浸ける。
- ④ 転倒混和後測定。
- ⑤ 1週間以内に測定をする。

更なる良い結果が得られることを期待します。